

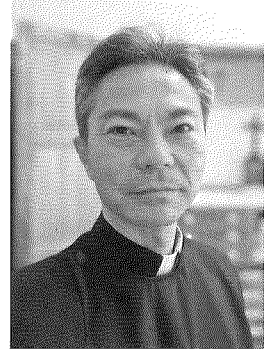
一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会
 〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
 日本聖公会東京教区会館内
 3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo
 TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696
 http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

発行人 足立 征三郎
 編集者 萩谷 長生
 印刷所 株式会社スコパレーション

助けは天地を造られた主から

清里聖アンデレ教会 司祭 サムエル 小林 祐一



2021年4月より清里の地に遣わされました、横浜教区司祭の小林祐二と申します。標高1300m、おそらく日本聖公会で一番高いところにある教会よりごあいさつ申し上げます。

士も体験したこの地から、耐え忍ぶ心と、その先にある喜びを体験し、天地の造り主である神様のみ業と、主イエスの十字架と復活を賛美しつつ、聖職としての新たな局面を歩み出した思いで過ごしています。

「二人が一人を」を実践して下さっています。また前号で野田兄が触れてくださいましたが、今年から教会の礼拝堂入口にもBSA叢書の書架が据えられ、来堂者をご案内していると、「どれがおススメですか?」と聞かれることもありませう。この清里でもBSAの生きた働きに支えられ、うれしく過ごしています。

「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ、わたしの助けはどこから来るのか、わたしを造られた主から来る。」(詩編第121編1,2節 祈禱書)

2023年度事業活動計画・予算(案)承認

第111総会「響き合うBSA」呼びかけ

第111総会が11月26日(土)、東京・聖アンデレ教会で開かれた。この日は、午前中に評議員会が開かれ、総会にかける議案、事業活動中間報告等を了承した。

を通じて一体感を高め、「響き合うBSA」を目指そう」と呼びかけている。

それを受けて理事会は、予定していた議案を午後の総会に提出することを確認した。

その一環として、このほどBSAを紹介する新しいパンフレットを作成した。A4版を三つ折りにしたもので、BSA設立の趣旨、活動内容、支部一覧が紹介されている。本部では、積極的な活用を呼びかけている。

総会の出席者数は、議決権を持つ正会員177名のうち、委任状も含めて104名で、過半数となり、総会は成立した。

作成にあたっては、特別委員長・野田 徹理事の尽力に負うところが多かった。

足立征三郎会長の挨拶の後、第1号議案の2023年度事業活動計画案を木島 出副会長が、第2号議案の同会計収支予算案を尾崎茂雄副会長がそれぞれ提案説明した。

審議の結果、両議案を賛成多数で承認した。

2023年度活動計画は、前文で「2027年のBSA創立100周年に向けて、聖公会の聖職・信徒に対する働きかけを強化し、「BSAの顕在化」を図る。そして、会員一人一人を大事にする運営を心がけ、活動

具体活動では、信徒叢書として、西原廉太立教大学総長・中部教区主教の「キリスト教と科学」を発行する。コロナ禍でも年間4回の発行を維持している機関紙「VISION」は、会員の寄稿により、参加感をさらに高める紙面作りに努める。



2021年4月より清里の地に遣わされました、横浜教区司祭の小林祐二と申します。標高1300m、おそらく日本聖公会で一番高いところにある教会よりごあいさつ申し上げます。

士も体験したこの地から、耐え忍ぶ心と、その先にある喜びを体験し、天地の造り主である神様のみ業と、主イエスの十字架と復活を賛美しつつ、聖職としての新たな局面を歩み出した思いで過ごしています。

「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ、わたしの助けはどこから来るのか、わたしを造られた主から来る。」(詩編第121編1,2節 祈禱書)

「目を上げて、わたしは山々を仰ぐ、わたしの助けはどこから来るのか、わたしを造られた主から来る。」(詩編第121編1,2節 祈禱書)

BSAセミナー予告 「祈り・連帯ーテゼ共同体から学ぶー」

日時 5月27日(土)13時
 会場 東京・聖アンデレ教会
 講師 植松 功氏(東京・聖マーガレット教会・BSA会員)
 対面+YouTube配信
 参加申込 YouTube参加者はBSA本部へメールで申し込む。
 mail.bsa@nsskk.org
 対面参加者は、メールまたは郵便で申し込む。
 105-0011 港区芝公園3-6-18 東京教区会館内 BSAセミナー係氏名、教会名、参加方法(対面かYouTubeかを明記)
 YouTube申込者には後日メールで送ります。対面申し込み者には当日会場で渡します。

資料 無料
 参加費 無料
 申込期限 5月10日(水) 詳細についてはVISION182号に掲載します。

公 示

一般社団法人 日本聖徒アンデレ同胞会
 第112総会を下記の通り開催します。
 2023年2月9日
 会長 足立征三郎

記

日時 2023年2月25日午後3時より
 場所 東京教区会館3F
 議案 2022年度事業活動報告および会計収支決算(案)承認の件

銀座朝禱会50周年記念祈禱会へのお誘い

1973年3月13日に開始した銀座朝禱会が、この3月で丸50年となります。永きに亘り当初からお支えくださったBSAメンバーにも感謝申し上げます。いつもの例会に替えて以下の通り記念の祈禱会をいたします。

日時 2023年3月14日(火)10時30分～
 場所 東京聖アンデレ教会アンデレホール
 参加費 1,000円(昼食代込み)
 参加ご希望の方は下記アドレス宛2月末までにお申込みください。

officemazda3@gmail.com
 (朝禱会世話人 松田正人)

第111総会を終えて

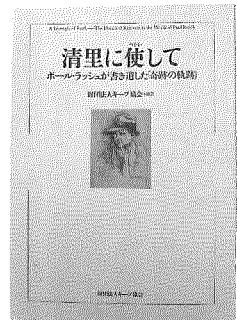
ポール・ラッシュの著作を紐解く

BSA会長 マルチン 足立征三郎

第111総会が滞りなく終わり、議案「2023年度の事業活動計画・2023年度会計収支予算」が異議なく決議されて新年を迎えました。心を引き締め、「響きあうBSAのため」に一層邁進する決意を固めたところでです。

振り返れば一昨年以來、コロナウイルス感染拡大予防対策により、BSA諸活動の多くは休止を余儀なくされました。そのような中であって、VISIONや信徒叢書(新刊)が発行され続け、またBSAセミナーが開催されたことは会員の絆を深める上で大きな役割を果たしています。

さて、停滞気味の会員相互の交流、諸活動の再開の糸口を探る中で、最近ポール・ラッシュの著作を読み返しました。その本は「清里に使用して」ポール・ラッシュが書き遺した「奇跡の軌跡」(キープ協会編訳)です。BSAの原点に立ち返って現状を振り返るのに大いに意義深いと感じましたので、同書の一部をご紹介します。



1927年晩春、受け持っていた何人かの学生が洗礼を受けることになり、その洗礼式に出席した。礼拝後、聖堂の外で受洗した学生たちに祝福の言葉をかけた。そこへライフシユナイダー主教が通りかき、出し抜けに「ポール、この学生たちは君の教えた子だ。無事に堅信礼まで導いてほしい」と言われたのです。大きな課題を投げつけられたのです。

約束を果たしたいと思うようになり、集めた資料の中にアメリカのBSA本部から届いた小さなハンドブックに、普通の平信徒にも理解できるものが見つかった。BSAは「祈り」と「奉仕」という単純明快な原則があるだけだ。まるで私のようなもののために造られた組織だと思った。私はBSAハンドブックを学

生たちに見せ、話し合った。そして1927年11月30日(聖アンデレの祝日)米国聖アンデレ同胞会の日本支部が発足した。発足後1931年まで外部への働き掛けを始め、大学内に複数の支部が誕生、1931年には独立の「日本聖徒アンデレ同胞会」が設立された。以下略

BSA会員は「祈祷と奉仕」をモットーに、キリストの御国を拡張すること、そのために支部活動、教会の働きの中で「一人が一人を」を担っています。また「一人が一人を」を実践するには、何時でも、招かれた人が戻ってこられる場所(教会・BSA)を用意できることが大切です。

BSAの働きのため、改めてポール・ラッシュ博士の思いを学び直し、初心に帰り、気持ちを引き締めて行きたいと思えます。

支部だより

例会中心に聖書の学び

盛岡支部長 ルカ 赤坂 徹
東北教区の主日礼拝は、新型コロナウイルス感染症のため、2021年3月29日から5月31日まで休止となり、6月7日から再開されました。

ポール・ラッシュ関係本

「清里の父ポール・ラッシュ伝」(山梨日日新聞社編、ユニバー出版1999年)
「キープへの道」(エリザベス・アン・ヘンフィル著、松平信

支度だより

久・北條鎮雄訳。立教大学出版会2018)
「日本聖徒アンデレ同胞会史」(伊達宗浩編、BSA 1997)
「わが人生 日本の青年に捧ぐ」(知られざるポール・ラッシュ物語)(立教大学展示館 2017)
「ポール・ラッシュ博士リビングヒストリー」(キープ協会 2021)
「イースターの奇跡」(受難は恵みに変えられた)(武藤六治主 教講話、東京教区外濠教会グループ協議会編 2019)
「夢かける高原 清里の父ポール・ラッシュ」(出崎 哲監督 2002)
(理事 ダビデ 吉松英美)

清里での記念礼拝

清里支部長 アブラハム野田 徹
清里聖アンデレ教会では、以下のようなポール・ラッシュ記念礼拝を行なった。
12月9日(金)午後
キープ協会の浅田豊久理事長以下役員・幹部職員約30名が出席した。(関連記事を4面3段に掲載)
12月11日(日)午前
主日礼拝の代祷。
12月11日(日)午後
ポール・ラッシュの会主催の記念礼拝。会長以下約15名が参加した。
12月15日(木)午前
12月逝去者記念聖餐式。

ポール・ラッシュの命日

今年の12月12日(月)は、ポール・ラッシュの命日であった。前夜の雨も上がり、朝から空は晴れ上がり、墓地のある東京・八王子の霊園から眺める周囲の山々は紅葉の盛りであった。ポール・ラッシュにゆかりのある人やポールを慕う人、BSA関係者などが訪れた。

私たちは男性信徒の仲間を増やしながら、聖書勉強を通じて教会全体の活性化に努めたいと考えております。

最近、仁王幼稚園と司祭館を改装したところですが、これからは築93年を経過した礼拝堂の改築が急がれます。



墓地は日当たりの良い一角にある。横には東京教区の後藤真主教の書いた碑文を刻んだ石碑がある。
(理事 ダビデ 吉松英美)

St. Luke's
会員制健康クラブ
聖路加フレンズ
☎ 03-3541-1056
受付時間 平日9:00~16:00
<https://www.stlukes-friends.com/>

立教企画グループ
学校業務受託、人材派遣等承ります。
株式会社 立教企画
株式会社 立教オフィスマネジメント
株式会社 立教ファシリティマネジメント
株式会社 立教ライブラリーマネジメント
<http://www.rikkyo-planning.co.jp>

ホームメイド・チーズケーキの店
CHEESE CAKE JOHANN
HOME MADE
目黒区上目黒1-18-1
TEL 3793-3503

サムエル天野公成さんを偲んで
インマヌエル新生教会
セオドル 佐久間達也
インマヌエル新生教会のBSA支部長天野公成さんが心筋梗塞のため10月21日62才で急逝されました。故人は九州教区司祭の息子さんでした。病氣治療のため通院が必要で、病院で過ごす間に、映画を見たり、音楽を聴いたり、読書をしたり、物思いにふけったり、聖書を読んだり、神様とお話をしたりと、その時を大事にしていたそうです。

教会では信徒奉事者、教会委員を務めていました。物静かに対応してくれ、優しく、いつもニコニコしていました。仕事はコンピュータ会社で東京近郊を回っておられました。近頃、日曜日が勤務になり、教会に来るのも難しい状況の中、礼拝中に見かけた時に声を掛けると、「今日は休みが取れたので」と楽しそうでした。

教会合併と新教会設立についてと題して的確に状況を判断した記事を寄せています。神様の御許に召された天野公成さんの魂の平安のために祈りましょう。

逝去後50日の礼拝と納骨の式は故郷の、またご両親の眠る長崎の聖三一教会で12月14日に行



わかれた。礼拝は牛島幹男司祭の司式、卓司祭の補式で行われ、礼拝後遺骨は教会の納骨室に安置された。礼拝にはご親族の他、インマヌエル教会からも信徒5名が参列した。今はご両親と共に主のみもとで安らかに憩わていることであろう。
(ヨハネ 松平謙次記)

11月例会は、第3主日に開催され、教会委員会報告の後、聖書の旅(勉強)は「使徒言行録」から始まり、「ローマの信徒への手紙」から「ユダの手紙」から「ルカによる福音書」に入って、21章を読んだところでです。

★一般ご家庭の引越し 事務所引越
★オフィスの引越 のエキスパート!!
★フロアーの移動
★各種展示会セッティング etc...
Grec 株式会社ギンテック
港区港南3-4-12
TEL 0120-223-008
TEL 3471-5313

ビジョン広場

クリスマスの思い出

川崎聖パウロ教会
 評議員 マツテヤ 田島利男
 旧い思い出になります、我が家の子供たちがまだ小さかった頃であったと思います。今思うと川崎の教会の黄金時代であったのでしよう。

クリスマス・イブもクリスマス礼拝も聖堂に入りきれないほどの人が集まり、「クリスマスおめでとう」と互いに挨拶をかわし、盛大に祝ったことが思い出されます。

クリスマス・キャロルの歌声も聖堂から会館の方まで溢れるような状態で、子供たちはプレゼントを頂いて大喜びで飛び回っていました。これがクリスマスの思い出だったので、これは私の遠い思い出のクリスマス。

今年も来るクリスマスは20人前後の「小さなクリスマス」、数人の子供に心ばかりの贈り物と、ささやかな「プレゼント交換」、クリスマス・イブは信徒だけですが、クリスマス・キャロルを精一杯歌いましょう。

横浜聖アンデレ教会

フランチス 小山俊雄
 80余年の人生では、小学校から高校までは飯山復活教会(中部教区)、その後は桃山基督教会(京都教区)、聖光教会(同)、練馬聖公会(現インマヌエル新生教会・東京教区)、渋谷聖公会聖ミカエル教会(同)、平塚聖マリヤ教会(横浜教区)、そして現在の横浜聖アンデレ教会に於いて約50年在籍している。

飯山復活教会時代は戦後間もない時期で、田舎の教会もにぎやかで子供の降誕劇も行われていた。クリスマスには聖歌を歌いながら、街中進行したが、仏壇店街では罵声を浴びせられた。

桃山基督教会では、洗礼、堅信を受けた。聖光教会でも京都北部を聖歌を歌って行進した覚えがある。

関東に移ってから会社勤めのため、イブ礼拝出席が主になったが、途中から休暇を取って降誕礼拝に参加するようになり、聖歌隊の奉仕ができるのは大きな喜びである。

横浜山手聖公会

セバスチャン 染谷孝章
 年末の横浜・寿町越冬パトリールに神学院へ入学するまで毎年一晩だけ参加していた。

年末年始自治体が休暇中、野宿している人たちの大切な命を絶やさない活動。寿町公園に集り、毛布や下着類、寸胴鍋に入ったスープなどを車に積み、横浜駅、関内駅に分かれ移動。私はもっぱら寸胴鍋を持ち運ぶ後方支援に専心。横浜駅では、こんなところにと、最後に「住まい」があり、最後に駅長室に挨拶して終了という「伝統」を知り、駅の見える姿が変わった。

初対面でもボランティア同士の会話には愛を感じるが、見回った数日後に訃報を知らされる辛い現実もある。高澤事務局長、三森牧師、実行委員の皆様、の尽力に心から敬意を表している。

今年の降誕節にも活動は続く

(聖公会神学院生)

清里聖アンデレ教会
 マルタ 木戸幸子
 クリスマスになると、祖母は本を贈ってくれました。私はそれを毎年心待ちにしています。

赤や緑、金色のサンタやツリーの包装紙に包まれた特別なプレゼントに妹や弟もワクワク、早く開けての大合唱でした。包装紙を丁寧に開くと聖句

が添えられたカードも入っています。

祖母の選ぶ本はキリスト教の絵本や本でした。「聖書物語」や「危険な旅」は私の信仰生活の道しるべとなっていて、祖母がよく言っていた言葉、「汝の若き日に汝の造り主を覚えよ」と「神さまを信じなさい」。本を通して私達を神さまに近づけてくれました。

本には必ず一筆あり

ました。「危険な旅」の見聞きには「1978年祝クリスマスおばあさん」と記してあります。プレゼントは小学校高学年まで続きました。

父も祖母にならぬ孫に本を贈ってくれました。見聞きに一筆添えて。

12月になると、どんな絵本が読みかきと聞いてきたり、新聞の絵本紹介を参考に選んでいったように「さむがりやのサンタ」はクリスマスが近づくと、寝る前の一冊になりました。

今度は私が息子や姪甥への一冊に悩む季節となりました。懐かしい本を開き、祖母や父を思い、贈る喜びと待つ嬉しさを味わいながら。

ビジョン広場次号のテーマ

コロナの影響でわが暮らし

生活や仕事は大きく変わりました。ズームの登場はその最たるものです。

みなさまの周りでもさまざまに変化が生じたことでしょう。次号のビジョン広場は、「コロナで変わったわたしの○○」投稿をお待ちしています。400字程度にまとめて送ってください。

信徒叢書のある風景(14)

インマヌエル新生教会

東京・池袋聖公会、池袋を起点とする東武東上線沿いの東京聖マルチン教会と西武池袋線沿いの練馬聖ガブリエル教会が合併して「インマヌエル新生教会」として発足したのは2019年1月のことであった。

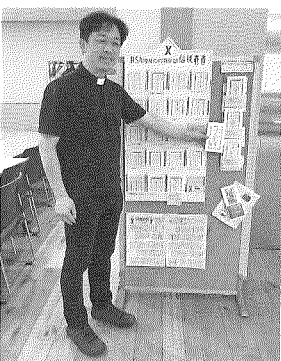
2021年8月には新しい聖堂が完成。礼拝堂を二階へ上げ、一階はホール・集会室とした。

礼拝堂の長椅子は新調したが、多くの聖具、備品は3教会で使用していたものを活用した。オルガンとピアノも、3教会のものを礼拝堂に置いて使用している。

祭壇の後ろの壁の高さを三角にくり抜いてガラス窓にし、そこに十字架を掲げた。そこから入る光が礼拝堂をひととき、わかるくしている。

信徒叢書の書架は、礼拝堂の入り口の手前の壁にかかっている。12.3年前に信徒の松平謙次兄(BSA理事)が作ったものである。軽くて出来るだけたくさん入るように考えたという。

次号のテーマ
コロナで変わったわたしの○○
 締切: 2月28日(火)
 メール: sarahyoshimatsu1515@ozzio.jp
 郵便: 〒181-0003
 三鷹市北野3-9-38
 吉松英美



教会のある江古田の町では、例年10月に、「江古田のまちの芸術祭」が開かれる。

インマヌエル新生教会も会場を提供した。

10月23日(日)には、「オーブリーチャーチ・地域感謝デー」として、オルガンコンサートや落語会のほか、一階のホールでは、困難な状況にある人たちのための「分かち合いマルシェ」を開き、食品や生活用品を提供した。

10月31日(月)には、教会完成一周年記念として礼拝堂で「フルートとハープの調べ」を開催した。

牧師の卓 志雄司祭(写真)

「地域に開かれた教会にする」と、以前からの目標とした」と語る。住宅街にある地域の一員として歩むインマヌエル新生教会である。

(理事) ダビデ 吉松英美

創立の恩人 ポールラッシュ
 学校法人メイウシヤマ学園

ハリウッド大学院大学

ハリウッド美容専門学校

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ
 ☎ 0120-083394 www.hollywood.ac.jp

「VISION」文芸

野田 徹

初雪や白一色の窓の外
 息白く見下ろす雲海遥かなり
 あごマスク三年越しの忘年会

立春や聖堂を出る車椅子
 初ミサや故郷離れし人ばかり
 この村に一軒残る遍路宿

春暁や遠ざかりゆくフェリー船
 美術館往きも帰日も新樹かな

雲辺(松岡正治)

松平謙次

高橋恵太郎

霧畑に諸肌脱ぎて凩と立ち青大根の心意気かな
 寒流に肩すすみ立つ白鷺の漁果如何んと問いたくもなり
 空気牙え山並みの木々あざやかに3D画像の冬景色かと

その人の逝去で相知るその時代ゴルパチョフに次ぐエリザベス女王
 忘れまじ「善き戦争、悪しき平和はありえぬ」と「落日燃ゆ」の重き言葉を
 ささやかな感謝の気持ち表すに「会長裁定」違和感拭えず

吉松英美

清里高原だより

清泉寮ニユース

「この冬は清泉寮に泊まるのか？」 会話が弾む魅力いっぱい！」

理事長交代のお知らせ

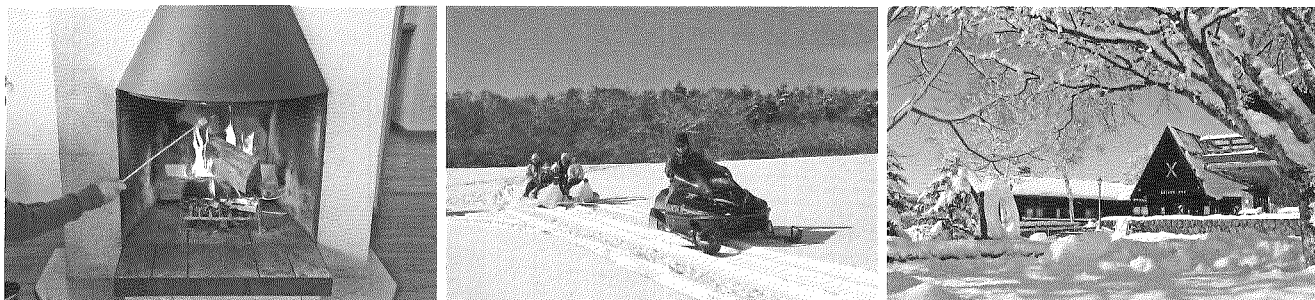
2023年1月3日付で、前理事長の浅田豊久に代わって、理事の元田充隆が公益財団法人キープ協会の理事長に就任いたしました。

冬の清泉寮 十三の魅力

シーズンオフのイメージが強い冬の清里・清泉寮。寒い季節ではありますが、他の季節では味わえない素晴らしい魅力がたくさんあります。

今回はそんな清泉寮の冬の魅力を十三に絞ってご紹介いたします。

- ・朝六時チャペルの祈りに凍とすする
- ・今日も晴れ青空の下雪景色
- ・百名山九峰一望冬の朝
- ・送迎付き気軽に楽しむスキー場
- ・ヘイライド寒さを超える感動あり
- ・雪積もりスリル満点雪バナナ
- ・森歩き出遭い楽しみリス、ウサギ
- ・ゆつくり見て発見楽しむミュージアム
- ・バレンタイン誰と味わう？
- ・チョコソフト
- ・シェフ自慢冬のメニューに癒される
- ・初登場日にち限定フルコース
- ・爆ぜる薪至福のひとつき部屋
- ・満天の星に息呑む露天風呂



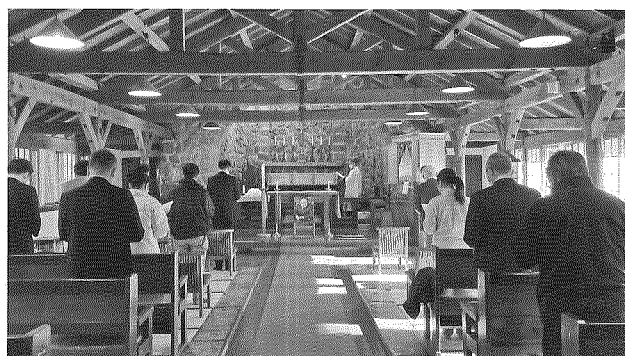
関係者限定清泉寮ご宿泊プラン
この冬、2月から3月中旬までの平日を中心に、清泉寮の職員と関係者限定のともにお得な「清泉寮ご宿泊プラン」が登場しました。今回、VISIONの読者の皆様もご利用いただけるようになりました。

新館の暖炉付きの洋室に2名様2食付きで平日お一人一万二千元(全国旅行支援適用の場合は何と九千六百円+お土産クーポン二千円分)、フルコース料理の日にはお一人一万五千元(全国旅行支援適用の場合は何と一万二千元+お土産クーポン二千円分!)など、通常価格よりお一人あたり一万二千元から一万五千元もお得にお泊りいただけます。各プランの設定日や詳細は、清泉寮フロント(TEL0551-481211)までお問合せください。その際VISIONの読者であることをお伝えください。



ポール・ラッシュ博士が逝去
2022年12月9日、清里聖アンデレ教会にて、ポール・ラッシュ博士の逝去記念礼拝が行われました。
ポール・ラッシュ博士が逝去

して43年目となる今回は、公益財団法人キープ協会の会長、理事・監事の全員が参加し、キープ協会の活動を通じて日本の戦後復興に寄与した、ポール・ラッシュ博士の功績に思いを馳せました。



春のコンサート開催

コロナ禍でのイベントやコンサートの自粛から、少しずつ平常時に戻りつつある中、良質な生の音楽を聴き、その魅力に触れる機会を関係者の皆様や地域の方々に広くご提供することを目的に、5月28日(日)に、清泉寮の大ホールを会場に、「清泉寮 春のコンサート」を開催いたします。ソプラノ、バリトンの歌手と、ピアノ、ヴァイオリン、ファゴットの演奏者、計5名の出演者による多彩なナンバーを入場料三千円(清泉寮宿泊者は二千円)でお楽しみいただけます。ご予約は清泉寮フロント(TEL0551-481211)まで。

歓迎新入会員

ルツ 城座真知子姉
(インマヌエル新生教会)
ガブリエル 折戸雄司兄
(真光教会)

理事会等実施報告

- 11月26日(土)(対面)
 - ・評議員会
 - ・第111総会議案了承
- 理事会
- 第111総会議案提出議案確認
- 12月12日(月)(対面)
 - VISION181号内容
 - 信徒叢書編集状況
 - BSAセミナー準備状況
 - BSAセミナー準備状況
 - 青少年キャンプの実施
 - 第112総会議案他
- 1月23日(月)(対面)
 - 信徒叢書編集状況
 - 特別委員会事業報告
 - 第112総会議案検討他

NHK「ゆく年くる年」で中継

ウクライナ正教会の大晦日深夜ミサが、NHKの「ゆく年くる年」で中継された。



ウクライナ正教会は、7、8年前から、毎月2回、主日の午後、東京の聖オルバン教会を使用し、て礼拝を行っている。昨年2月のロシアによるウクライナ侵攻以来、NHKをはじめ民放がニュースでたびたび放送してきた。(理事 ダビデ 吉松英美)

会費納入のお願い

BSAの運営は皆さまの会費、賛助会費を財源として賄われております。会費納入にご協力のほどよろしく願っています。郵便振替または銀行振込みのいずれでも承っております。

郵便振替口座
00170-5-87165

銀行口座
三菱UFJ銀行 虎ノ門支店
普通預金 4057002
一般社団法人
日本聖徒アンデレ同胞会
(イッパンシヤダンホウジンニホ
ンセイトアンデレドウホウカイ)
銀行振込の際は、お名前前に宛名ラベル右下の番号の下4桁を入力して下さい。

編集後記

「清泉寮ニユース」の冒頭で公益財団法人キープ協会の理事長交代が告知されました。BSA会員(元理事)のステパノ元田充隆氏が新理事長に就任されたことはご同慶の至りです。キープ協会とBSAの連携が今後ますます深まることを願って止みません。

ホーム・メイドチーズケーキ店JOHANNの広告欄(2面下段)から代表者のお名前が消えたことにお気づきでしょうか。オーナーのブリジッド和田博士さん(聖アンデレ教会)が1月11日に逝去されました。永きにわたりVISIONをお支え下さったことを感謝し、主のみもとでの靈魂の平安をお祈り申し上げます。(N・H)